

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 7 月 24 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県長岡市脇野町473番地

氏名 株式会社 山長組 代表取締役 長谷川 啓一

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0258-42-2226

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 山長組																								
事業場の所在地	新潟県長岡市脇野町473番地																								
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで																								
当該事業場において現に行っている事業に関する事項																									
①事業の種類	総合土木業																								
②事業の規模	元請完成工事高 417百万円																								
③従業員数	23名																								
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<table><tr><td>廃プラスチック類</td><td>再生処理業社へ委託</td><td>→</td><td>材料として再資源化</td></tr><tr><td>鉄くず</td><td>中間業社へ委託</td><td>→</td><td>材料として業者へ売却</td></tr><tr><td>木くず</td><td>再生処理業社へ委託</td><td>→</td><td>木材チップや培養土として再資源化</td></tr><tr><td>がれき類</td><td>再背処理業社へ委託</td><td>→</td><td>再生砕石として再資源化</td></tr><tr><td>汚泥</td><td>再生処理業社へ委託</td><td>→</td><td>改良土として再資源化</td></tr><tr><td>建設混合廃棄物</td><td>中間業社へ委託</td><td>→</td><td>再資源化や管理型埋立処理</td></tr></table>	廃プラスチック類	再生処理業社へ委託	→	材料として再資源化	鉄くず	中間業社へ委託	→	材料として業者へ売却	木くず	再生処理業社へ委託	→	木材チップや培養土として再資源化	がれき類	再背処理業社へ委託	→	再生砕石として再資源化	汚泥	再生処理業社へ委託	→	改良土として再資源化	建設混合廃棄物	中間業社へ委託	→	再資源化や管理型埋立処理
廃プラスチック類	再生処理業社へ委託	→	材料として再資源化																						
鉄くず	中間業社へ委託	→	材料として業者へ売却																						
木くず	再生処理業社へ委託	→	木材チップや培養土として再資源化																						
がれき類	再背処理業社へ委託	→	再生砕石として再資源化																						
汚泥	再生処理業社へ委託	→	改良土として再資源化																						
建設混合廃棄物	中間業社へ委託	→	再資源化や管理型埋立処理																						

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度 ( 6 年度 ) 実績】								
①現状	産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等	
	排出量	1,643.28 t	40.99 t	8.33 t	6.16 t	5.12 t	0.30 t	t
②計画	産業廃棄物の種類							
	排出量	1,400.00 t	35.00 t	7.50 t	5.50 t	4.50 t	0.25 t	t
【目標】								
①現状	産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等	
	排出量	1,400.00 t	35.00 t	7.50 t	5.50 t	4.50 t	0.25 t	t
②計画	産業廃棄物の種類							
	排出量	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)								
原単位当り(完成工事高当り)の排出量を把握し、原単位当り排出量を前年比約マイナス10%を目標とする。工事施工方法を含めた創意工夫に積極的に取組み残余資材のリユース、リサイクルに努める。								

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	原則として上記産業廃棄物ごとに分類している。							
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)							
	上記の現状を確実に実施する。							

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等			
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
②計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等			
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
主として再生資源化に取り組む業者に委託する。									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状		【前年度（6年度）実績】							
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
②計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等			
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類									
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
主に再生資源化に取り組む業者に委託する。									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】											
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類											
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)											
特に実施していない。											

【目標】											
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類											
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)											
実施予定はない。											

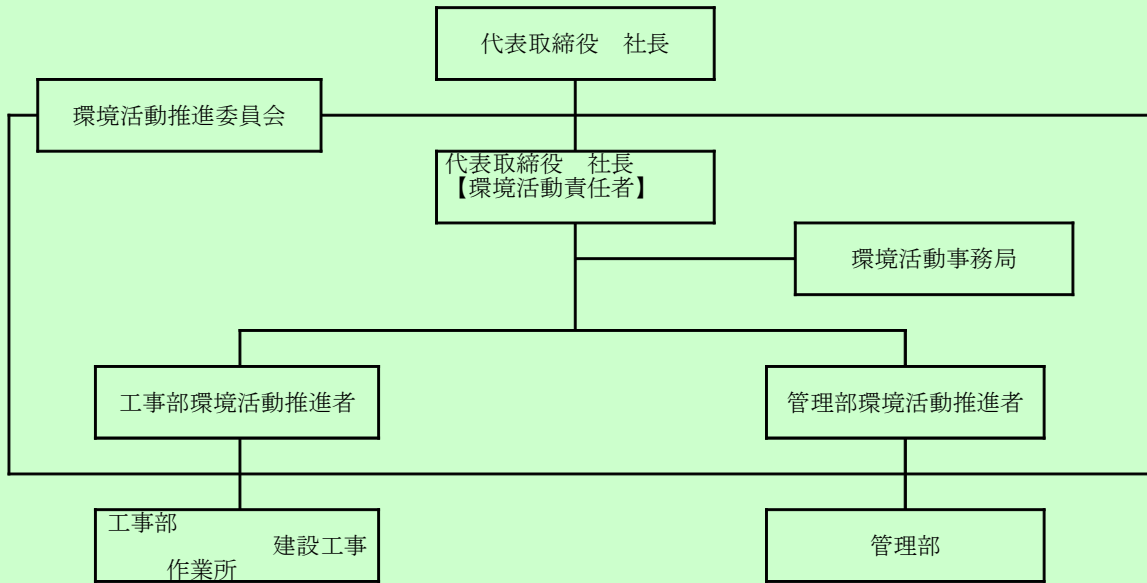
## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】											
産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等					
全処理委託量	1,643.28 t	40.99 t	8.33 t	6.16 t	5.12 t	0.30 t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	8.33 t	t	5.12 t	0.30 t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	1,643.28 t	40.99 t	t	6.16 t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類											
全処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)											
産業廃棄物を委託する業者を選定して書面による契約を実施。											

⑨ 計画	【目標】									
	産業廃棄物の種類	ガレキ類	木くず	廃プラスチック類	鉄くず	混合くず	ガラス等			
	全処理委託量	1,400.00 t	35.00 t	7.50 t	5.50 t	4.50 t	0.25 t			
	優良認定処理業者への処理委託量					4.50 t	0.25 t			
	再生利用業者への処理委託量	1,400.00 t	35.00 t	7.50 t	5.50 t					
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	産業廃棄物の種類									
	全処理委託量									
	優良認定処理業者への処理委託量									
	再生利用業者への処理委託量									
	認定熱回収業者への処理委託量									
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量									
	(今後実施する予定の取組)									
	再生可能な廃棄物については、再生資源化処理業者へ委託する。廃プラスチック類の再生資源化にも積極的に取り組む。									
※事務処理欄										

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



管理フロー・内容	社長	環境活動責任者	環境活動事務局	管理部環境推進者	工事部環境推進者
方針の策定	◆	●			
状況の把握・評価	◆	◇	●	○	○
関連法規等の取りまとめ	◆	◇	●	◇	◇
目標・計画の取りまとめ	◆	●	○	○	○
実施体制の構築・管理運営の検討	◆	●	○	○	○
教育訓練・啓発運動	◆	◇	●	○	○
環境情報収集	◆	●		○	○
環境活動実施	◆	◇	●	○	○
緊急事態への準備・対応		◇	●	○	○
状況の確認・問題の是正	◆	●	●	○	○
文書及び記録の作成・整理		●	●	○	○
全体の評価と見直し	◆	●	●	○	○

【 凡例 ◆：承認 ◇：確認 ●：主管 ○：担当 □：業務・作業 】

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	株式会社 山長組 代表取締役 長谷川 啓一	提出者の住所	新潟県長岡市脇野町473番地
事業場の名称	株式会社 山長組	事業場の所在地	新潟県長岡市脇野町473番地
内容年度	7 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 ／ 計画	排出量  A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
ガレキ類	現状	1,643.28	0.00	0.00	0.00	0.00	1,643.28	0.00	1,643.28	0.00	0.00
	計画	1,400.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1,400.00	0.00	1,400.00	0.00	0.00
木くず	現状	40.99	0.00	0.00	0.00	0.00	40.99	0.00	40.99	0.00	0.00
	計画	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	35.00	0.00	35.00	0.00	0.00
廃プラスチック類	現状	8.33	0.00	0.00	0.00	0.00	8.33	8.33	0.00	0.00	0.00
	計画	7.50	0.00	0.00	0.00	0.00	7.50	0.00	7.50	0.00	0.00
鉄くず	現状	6.16	0.00	0.00	0.00	0.00	6.16	0.00	6.16	0.00	0.00
	計画	5.50	0.00	0.00	0.00	0.00	5.50	0.00	5.50	0.00	0.00
混合くず	現状	5.12	0.00	0.00	0.00	0.00	5.12	5.12	0.00	0.00	0.00
	計画	4.50	0.00	0.00	0.00	0.00	4.50	4.50	0.00	0.00	0.00
ガラス等	現状	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.30	0.00	0.00	0.00
	計画	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	0.25	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	現状	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	計画	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合 計	現状	1,704.18	0.00	0.00	0.00	0.00	1,704.18	13.75	1,690.43	0.00	0.00
	計画	1,452.75	0.00	0.00	0.00	0.00	1,452.75	4.75	1,448.00	0.00	0.00